

示現会会報

一般社団法人 示現会

会員総会関連

2021年度 一般社団法人 示現会定時会員総会報告

日時 2021年3月2日（火曜日）14時より

場所 東京都北区中里一丁目17番4号 当法人会館

総会成立の確認

この時点での正会員数は、354名、出席正会員数は、13名、議決権行使書面による出席者253名、その総数は266名で定款の定めるところの総正会員等の議決権を有する正会員が出席し、更に議決権行使書面をも含めましてその定数に達しており総会が成立している旨を確認しました。

会議の目的事項

報告事項

2020年度（自2020年1月1日から至2020年12月31日）事業報告の件

事業報告概要

2020年度、コロナ禍に置いて示現会はどのような事業をやってきたか報告いたします。

3月1日の総会后、役員、委員による拡大理事会を開催しました。その中で、コロナ報道が刻々と深刻さを増す中、73回展の開催をいかにするかを審議をしました。

コロナの先行きが全く未知であり、国立新美術館がいかなる方向性も打ち出さない中での審議でした。準備期間のバックヤードは通常通り使用可能、そして展覧会を中止することは多額のキャンセル料が発生するという条件下で示現会は73回展中止を決断しました。

示現会からコロナ感染者を絶対出さないという強い信念からでした。示現会が73回展中止を美術館側に意思表示をしたあと、結果的には美術館も閉館を決めました。

そして示現会は、その後の写生旅行、5月、6月研究会、夏期講習会、銀座での選抜展はすべて中止としました。すべての事業を中止する中で、会員の会離れが一番の悩みでした。いかに、制作意欲を維持してもらうか、会への関心を持続してもらうかが心配でした。

その中で、会の現状を刻々と会員に発信するべく「事務局だより」5月31日付け第1号を発刊しました。12月までのあいだに都合8回発行いたしました。また、7月研究会からは会館での密状態を避けた写真によるリモート研究会を実施、9月も含め3回開催しました。

今まで培ってきたすべての活動様式が全否定され、暗中模索、一からのスタートの年でした。犠牲は大きなものでしたが、絵描きが個々人の制作のほか、組織を作り運営していくことの大変さを思い知らされ、勉強した1年でした。

■会員数

	2020.1.31時点	73回展中止により 昇格者	2021.1.31現在
正会員	398	0	360
準会員	188	0	173
会友	142	0	135
計	728		668

1. 展覧会の開催状況〔(事業) 定款第4条〕

(1) 展覧会（第73回示現会展）

2020年4月1日～4月13日 於 国立新美術館 新型コロナ禍の為中止

(2) 第73回示現会展巡回展（同期間

※印=公募展、交流展含む）

4月22日～4月26日 兵庫展 (於 兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー)

新型コロナ禍の為中止

5月12日～5月17日 福岡展

(於 福岡市美術館)

新型コロナ禍の為中止

※5月19日～5月24日 熊本展

(於 熊本県立美術館本館)

新型コロナ禍の為中止

5月26日～5月31日 北九州展

(於 北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー)

新型コロナ禍の為中止

※6月3日～6月8日 和歌山展

(於 和歌山県民文化会館)

新型コロナ禍の為中止

6月19日～6月23日 徳島展

(於 あわぎんホール 徳島県郷土文化会館)

新型コロナ禍の為中止

※6月30日～7月5日 名古屋展

(於 愛知県美術館)

新型コロナ禍の為中止

※7月8日～7月12日 山形展

(於 山形美術館)

新型コロナ禍の為中止

※7月21日～7月26日 岐阜展

(於 岐阜県美術館)

新型コロナ禍の為中止

※7月29日～8月2日 青森展

(於 青森市民美術展示館)

新型コロナ禍の為中止

8月23日～8月29日 長岡展

(於 長岡市美術センター)

新型コロナ禍の為中止

※9月15日～9月20日 京都展

(於 京都市京セラ美術館)

陳列点数105点 入場者数1,514名

応募者数11名 応募点数11点

10月20日～10月25日 金沢展

(於 金沢21世紀美術館)

新型コロナ禍の為中止

(3) 支部展、等（※印=公募展含む）

2月6日～2月12日 徳島支部展

(於 あわぎんプラザ臨時ギャラリー)

陳列点数42点 応募者28名

公募交流展は新型コロナ禍の為中止

2月18日～2月23日 京都支部展

(於 府立文化芸術会館)

陳列点数43点 入場者数1,035名

※5月19日～5月24日 熊本支部展

(於 県立美術館分館)

新型コロナ禍の為中止

7月28日～8月2日 福岡支部

(於 ギャラリーシェル)

小品展

新型コロナ禍の為中止

7月14日～7月19日 兵庫支部展

新型コロナ禍のため中止

7月8日～7月19日 山形支部

(於 彩画堂)

小品展

新型コロナ禍のため中止

9月10日～9月15日 石川県支部

(於 ひろた美術ANNEX)

小品展

陳列点数26点 入場者数150名

8月26日～8月30日 長野支部展 (於 サントミュージゼ上田市立美術館)
 ※10月18日～10月25日 福井支部展 (於 鯖江市まなべの館)
 陳列点数42点 入場者数500名
 9月15日～10月18日 岐阜支部
 会員展 (於 加藤栄三・東一美術館)
 陳列点数16点 入場者数350名
 ※11月11日～11月15日 新潟県支部展 (於 長岡市美術センター)
 新型コロナ禍のため中止
 ※11月17日～11月22日 久留米支部展 (於 久留米市美術館)
 陳列点数83点 入場者数1,400名
 応募者数20名 応募点数25点
 ※11月24日～11月29日 愛知支部展 (於 名古屋市民ギャラリー)
 陳列点数39点 入場者数826名
 応募者数39名 応募点数39点
 12月1日～12月6日 京都支部
 小品展 (於 京都文化芸術会館)
 陳列点数41点 入場者数565名
 その他 上記以外に各支部で支部グループ展等一部開催

2. 研究会の開催状況

(1) 研究会

【本部 作品研究会 (公益事業)】

- ・ 1月12日 示現会会館にて講師陣の講評 参加者44名
- ・ 2月16日 示現会会館にて講師陣の講評 参加者69名
- ・ 6月7日 示現会会館にて講師陣の講評 新型コロナ禍のため中止
- ・ 7月24日～7月28日 夏季研究会 新型コロナ禍のため中止
- ・ 7月19日 リモート研究会にて講師陣の講評 参加者101名
- ・ 9月6日 リモート研究会にて講師陣の講評 参加者118名
- ・ 9月27日 リモート研究会にて講師陣の講評 参加者数102名

【本部 特別作品研究会】

- ・ 9月28日 示現会会館開放にて講師陣の特別講習
新型コロナ禍のため中止
- ・ 9月29日 示現会会館開放にて講師陣の特別講習
新型コロナ禍のため中止
- ・ 10月3日 示現会会館にて講師陣の特別講習会
新型コロナ禍のため中止

【各支部活動 作品研究会】

- 《青森支部》 2月23日 作品研究会 参加者数15名
- 《山形支部》 2月12日 作品研究会 参加者数23名
- 2月29日 作品研究会 参加者数19名
- 《新潟県支部》 2月2日 作品研究会 参加者数35名
- 7月26日 作品研究会 新型コロナ禍のため中止
- 《長野県支部》 2月15日 作品研究会 参加者14名
- 《石川県支部》 2月7日 作品研究会 参加者25名
- 《福井支部》 2月22日・23日 作品研究会 コロナ禍のため中止
- 毎月 第3日曜 (嶺北)、第1・第3日曜 (嶺南) 参加者各3～8名
- 《岐阜支部》 2月2日 作品研究会 参加者25名
- 2月22日・23日 作品研究会 参加者数28名

- 《愛知支部》 1月19日 作品研究会 参加者数27名
- 2月9日 作品研究会 参加者数40名
- 2月29日 作品研究会 参加者数27名
- 《京都支部》 2月18日・19日 作品批評会 参加者支部員他
- 6月7日 作品研究会 参加者数31名
- 12月 作品研究会 新型コロナ禍のため中止
- 《和歌山支部》 2月9日・10日 作品研究会
- 《兵庫支部》 1月18日・19日 作品研究会 参加者数3名
- 2月16日 作品研究会
- 7月24日・25日 作品研究会 新型コロナ禍のため中止
- 10月11日 作品研究会 新型コロナ禍のため中止
- 《徳島支部》 1月12日 作品研究会 参加者24名
- 3月5日 作品研究会 参加者数25名
- 9月28日 作品研究会 参加者数21名
- 《福岡支部》 2月2日 作品研究会 (福岡) 参加者数42名
- 2月17日 作品研究会 (北九州) 参加者数13名
- 2月23日 作品研究会 (北九州) 参加者数13名
- 2月24日 作品研究会 参加者数28名
- 7月12日・13日 作品研究会 (福岡+久留米)
新型コロナ禍のため中止
- 11月10日 作品研究会 (北九州) 参加者数13名
- 《久留米支部》 2月5日・23日 作品研究会 各30名
- 9月20日・ 作品研究会 各30名
- 10月18日
- 《熊本支部》 1月19日 大作作品研究会 参加者数26名
- 2月1日・2日 大作作品研究会 参加者数23名
- 6月14日 実技研修会 新型コロナ禍のため中止
- 9月13日 大作作品研究会 参加者数20名
- 10月11日 大作作品研究会 参加者数18名
- 12月13日 スケッチ研修会&私の制作法
参加者数21名

(2) 示現会風景・人物写生研修会

【本部】 5月10日・11日 写生研修会 新型コロナ禍のため中止

【各支部】

・本部同様、各支部においてそれぞれ実施。

- 《青森支部》 10月21日 写生会 奥入瀬溪流 参加者3名
- 《山形支部》 9月10日 写生会 蔵王温泉 参加者6名
- 《新潟県支部》 5月17日・18日 写生会 湯沢塩沢 新型コロナ禍のため中止
- 10月25日 写生会 小出 新型コロナ禍のため中止
- 《石川県支部》 4月19日 写生会 木場潟周辺 新型コロナ禍のため中止
- 《福井支部》 5月 写生会 新型コロナ禍のため中止
- 《長野県支部》 写生会 新型コロナ禍のため中止
- 《岐阜支部》 5月 写生会 新型コロナ禍のため中止
- 8月 裸婦デッサン会 新型コロナ禍のため中止
- 《愛知支部》 10月26日・27日 写生会 三重県相差 新型コロナ禍のため中止

《京都支部》		人物デッサン会	新型コロナ禍の為中止
《兵庫支部》	5月30日	写生会	神戸方面 新型コロナ禍の為中止
《徳島支部》	10月	写生会	台風により中止
《福岡支部》	4月	写生会	大濠公園 新型コロナ禍の為中止
	11月	ヌードデッサン会	新型コロナ禍の為中止
《久留米支部》	11月29日	写生会	阿蘇農村公園あぴか
《熊本支部》	11月8日	写生会	阿蘇農村公園あぴか

3. 新人育成のための研究所の運営状況

絵画の基礎的な力の養成を目標に、一般に開放するアトリエです。
また専門家を志す方、趣味として生活にうるおいを深めようとする方々にも、自由かつ真剣に楽しく研究できる施設として提供している。

人体写生（裸婦・着衣） 油彩、水彩、静物、風景 大型作品制作	午前の部10：00～12：30 午後の部13：30～15：30
--------------------------------------	------------------------------------

4. 美術に関する研究及び調査

- (1) 冬季・夏季・秋季・春季 各作品研究会を通しての絵画表現研究
作者の制作意図に基づき作品の講評、指導を実施
- (2) 春季（写生旅行会）・夏季 研究会（夏期講習会）により野外・人物写生による表現の研究 新型コロナ禍の為中止
- (3) 巡回展指導、支援
巡回展時における本部より役員を派遣し出品作品について講評会、陳列指導等を実施
各支部においても更に幹部を中心に各種研究会 新型コロナ禍の為中止
- (4) 会誌掲載文による指導、研究
 - ・ 展覧会中止の経緯、その後の状況
 - ・ 新型コロナ対策について・特別委員会活動
 - ・ 新しい試み「事務局だより」9号発行
 - ・ 役員寄稿・支部だより
 - ・ 支部に準ずる活動地域の紹介 北海道・宮城・台湾
 - ・ コロナ禍における新活動 リポート研究会
 - ・ 私のモチーフ、写生地紹介
 - ・ 各係より連絡、報告類
 - ・ 研究所案内

5. 会誌及び美術に関する図書等の発行

会誌（2020年12月発行）B5版 35ページを下記の要領で実施
発行部数：1,400部
配付先：正会員・準会員・会友をはじめ一般出品応募者、過去の出品応募者、研究所生、元会員のご遺族、更には広報活動用として必要に応じて多方面に配付
記事内容 上記

6. その他目的を達成するために必要な事業 他

総会・理事会・委員会 関連

- (1) 定時会員総会
 - ・ 2020年3月1日 2019年度事業報告・決算の承認・除名者の承認
 - ・ 各支部で各々支部総会実施

- (2) 理事会
常務理事会
・ 1月22日 常務理事会
理事会
・ 2月19日 会員総会関連 付議事項並びに報告事項の承認
事業計画案・予算案の承認・他
- (3) ホームページ更新により下記事項を実施
 - ・ 事務所・支部・会員一覧
 - ・ 示現会史
 - ・ 展覧会・作品研究会・年間予定
 - ・ 絵画研究所
 - ・ 事業報告・トピックス等の活動案内と各種情報適時開示
- (4) 会員名簿発行 2020年4月

決議事項

議 案 2020年度（自2020年1月1日から至2020年12月31日）貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）承認の件
別紙決算資料に基づき説明され、次いで監事より別紙のとおり監査報告がなされ別段の異議無く承認可決されました。

<次頁へ続きます>

令和2年度 貸借対照表

令和2年12月31日現在

一般社団法人 示現会

(単位:円)

科 目	当 期 末	前 期 末	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	79,132,283	70,517,222	8,615,061
本部現金預金	56,218,628	51,325,157	4,893,471
研究所現金預金	627,796	663,924	△ 36,128
支部現金預金	22,285,859	18,528,141	3,757,718
未収会費	1,475,000	1,070,000	405,000
未収金	36,000	18,000	18,000
前払金	1,327,935	2,455,440	△ 1,127,505
棚卸資産	208,304	208,304	0
流動資産合計	82,179,522	74,268,966	7,910,556
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2)特定資産			
減価償却引当資産	8,529,891	7,669,105	860,786
特定資産合計	8,529,891	7,669,105	860,786
(3)その他固定資産			
土地	127,920,000	127,920,000	0
建物	17,474,293	18,334,427	△ 860,134
什器備品	942,193	385,747	556,446
電話加入権	108,000	108,000	0
その他固定資産合計	146,444,486	146,748,174	△ 303,688
固定資産合計	164,974,377	164,417,279	557,098
資産合計	247,153,899	238,686,245	8,467,654
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	337,464	4,939,075	△ 4,601,611
前受金	33,000	2,500	30,500
前受会費	124,000	0	124,000
預り金	411,913	255,599	156,314
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	286,700	469,100	△ 182,400
流動負債合計	1,263,077	5,736,274	△ 4,473,197
負債合計	1,263,077	5,736,274	△ 4,473,197
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	245,890,822	232,949,971	12,940,851
(うち基本財産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	0
(うち特定資産への充当額)	(8,529,891)	(7,669,105)	△ 860,786
正味財産合計	245,890,822	232,949,971	12,940,851
負債及び正味財産合計	247,153,899	238,686,245	8,467,654

令和2年度 正味財産増減計算書

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

一般社団法人 示現会

(単位:円)

科 目	本 部	研 究 所	支 部	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
入金収入	0	0	10,000	10,000
会費収入	34,935,000	0	5,447,000	40,382,000
事業収益	1,302,000	1,056,000	1,488,400	3,846,400
受取寄附金	0	0	50,000	50,000
受取利息	1,804	4	158	1,966
雑収益	2,536,000	0	1,036,200	3,572,200
経常収益計	38,774,804	1,056,004	8,031,758	47,862,566
(2)経常費用				
事業費	5,861,291	948,456	6,204,671	13,014,418
管理費	20,067,560	121,756	1,717,981	21,907,297
経常費用計	25,928,851	1,070,212	7,922,652	34,921,715
当期経常増減額	12,845,953	△ 14,208	109,106	12,940,851
2. 経常外増減の部				
(1)経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2)経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	12,845,953	△ 14,208	109,106	12,940,851
一般正味財産期首残高				232,949,971
一般正味財産期末残高				245,890,822
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額				0
指定正味財産期首残高				0
指定正味財産期末残高				0
III 正味財産期末残高				245,890,822

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定額法

② 無形固定資産

定額法

(3) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
減価償却引当預金	7,669,105	860,786	0	8,529,891
小計	7,669,105	860,786	0	8,529,891
合計	17,669,105	860,786	0	18,529,891

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
基本財産	10,000,000		(10,000,000)	
小計	10,000,000	0	(10,000,000)	0
特定資産				
減価償却引当預金	8,529,891		(8,529,891)	
小計	8,529,891	0	(8,529,891)	0
合計	18,529,891	0	(18,529,891)	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	24,458,634	6,984,341	17,474,293
什器備品	1,153,058	210,865	942,193
合計	25,611,692	7,195,206	18,416,486

一般社団法人 示 現 会

理事長 成田禎介 殿

一般社団法人 示 現 会

監事 大瀧 弘子 ㊞

監事 林 勝彦 ㊞

監事 三杉 和子 ㊞

監 査 報 告 書

私たち監事は、当法人の令和2年1月1日から令和2年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議等に参加し、執行状況について報告を受け必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について監査いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書））について監査いたしました。

2. 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2) 計算書類の監査結果

計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上